



大雨
洪水・台風



土砂災害



地震



奥州市

ハザード マップ



 はじめに、ハザードマップの活用方法	1	 非常用持出品および備蓄品	9
 警戒レベルを用いた避難情報	2	 ・新しい防災気象情報	
 防災気象情報	3・4	 マイ・タイムラインを作ろう!	10
 洪水・浸水害について、	5・6	 避難施設一覧	11・12
 ため池浸水情報について		 水沢地域全体図	13・14
 土砂災害について	7	 水沢地域ハザードマップ1～10	15～34
 地震対策について	8	 各種情報・奥付	裏表紙

はじめに

近年、異常気象により、全国各地で土砂災害や洪水被害が発生しています。奥州市でも昭和22・23年のカスリン・アイオン台風や平成20年の岩手・宮城内陸地震、平成23年の東日本大震災などの災害に見舞われ、大きな被害を受けました。

この「奥州市ハザードマップ」は、奥州市の災害リスクと災害への備えに関する情報などを一冊にまとめています。自然災害は、いつ、どこで発生するか分かりません。「自分の命は自分で守る」という意識をもち、日頃から「自分でできること」「家族でできること」「地域でできること」などについて考え、災害に備えておくことが大切です。このハザードマップを活用し、命を守る適切な行動をとりましょう。

地域の防災力を高めるために重要な3つの「助」

災害による被害を最小限に抑えるためには「自助」、「共助」、「公助」の連携が不可欠です。特に、「自助」（自分の命は自分で守る）、「共助」（自分たちの地域は自分たちで守る）という考え方が重要になります。

自分の命は自分で守る

自助

「命」・「家族」・「財産」



連携

自分たちの地域は自分たちで守る

共助

「隣近所」・「お年寄り」・「自主防災組織」



行政や防災関係機関が行う応急対策活動

公助

「警察、消防、自衛隊」・「ライフライン」・「県・市」



ハザードマップの活用方法について

① 地図上で家の位置と家の周りの災害の危険性を確認しましょう

このハザードマップには想定される浸水深、土砂災害について表示しています。自分が住んでいる場所に、どのような水害の危険、土砂災害の危険があるかを確認しましょう。ただし雨の降り方や土地の状態によっては、地図に示された区域以外でも洪水や土砂災害が発生することがありますので、十分に注意してください。

ミーもハザードマップで奥州市の災害リスクを調査するピン！



② 避難所を確認しましょう

本書11、12ページの避難施設一覧で、自分の住んでいる地区で指定されている避難所がどこにあるのかを確認しましょう。そして地図上でその避難所がどこにあるのか、場所の確認をしましょう。

③ 避難経路を考えてみましょう

ハザードマップで自分が住んでいる場所から避難所まで、どの道を通れば良いか、避難経路を地図上で確認しましょう。地図上での確認が済んだら、実際に避難所まで歩いてみましょう。安全で歩きやすい道を選び、避難所までの経路を確認して、所要時間を計ってみましょう。実際に避難するときは、夜間・大雨・大人数での移動が考えられるため、所要時間は平常時の倍以上かかる可能性があります。

④ 家族や周辺住民と情報を共有しましょう

ハザードマップは家族と一緒に確認しましょう。地震、台風や大雨により、避難が必要になったときは、周辺住民、親戚、知り合いなどにこれから避難することと避難先を伝え、どこの施設に避難しているのか分かるようにしておきましょう。安否確認には、災害用伝言ダイヤル（171）の利用も有効です。

！警戒レベルを用いた避難情報

警戒レベルについて 警戒レベルは、水害や土砂災害に備えて住民がとるべき行動をお知らせするために5段階にレベル分けしたもので、市が避難情報と合わせて出す情報です。

※ 防災気象情報が令和8年5月下旬から変更となる予定です。詳しくは9ページをご覧ください。

避難情報等 (警戒レベル)				河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)	
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報 (警戒レベル相当情報)	
				浸水の情報 (河川)	土砂災害の情報 (雨)
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！ ・警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。 ・警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません！ ・ただし、警戒レベル5は、市区町村が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。	緊急安全確保	5相当 氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
~~~~~ < 警戒レベル4までに必ず避難！ > ~~~~~					
4	災害のおそれ高い	<b>危険な場所から全員避難</b> ・警戒レベル4避難指示は、立退き避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発令される情報で、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。	避難指示	4相当 氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3	災害のおそれあり	<b>危険な場所から高齢者等は避難</b> ・「高齢者等」は障がいのある人や避難を支援する者も含んでいます。 ・さらに、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難するタイミングです。	高齢者等避難	3相当 氾濫警戒情報 洪水警戒情報	大雨警戒情報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報	2相当 氾濫注意情報	---
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1相当 ---	---

※市長は、河川や雨の情報 (警戒レベル相当情報) のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等 (警戒レベル) の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

**「避難」とは「難」を「避」けること** 下の4つの行動があります。普段からどう行動するか決めておきましょう

#### ● 行政が指定した避難所への立退き避難

※マスク、消毒液、体温計、スリッパ等は自分で携行しましょう。



#### ● 安全な親戚や知人宅への立退き避難

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。  
※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。



#### ● 安全なホテル・旅館への立退き避難

※通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。  
※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。



#### ● 屋内安全確保

①から③の「3つの条件」が確認できれば、浸水の危険があっても自宅に留まり、安全を確保することも可能です。  
※土砂災害の危険がある区域では立退き避難が原則です。  
①家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない  
②浸水深より居室は高い  
③水がひくまで我慢でき、水や食料などの備えが十分



崖からできるだけ離れた部屋に移動しましょう



長期間の避難に備えて、水・食料など最低3日分を備蓄しましょう

## 注意報・警報・特別警報

種類	発表の時期
大雨特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の大雨が予想されるとき。重大な災害が発生するおそれが高まっているとき。
暴風特別警報	数十年に一度の強度の台風・温帯低気圧による暴風が予想されるとき。
記録的短時間大雨情報	1時間雨量100mmの猛烈な雨を観測したとき。
土砂災害警戒情報	雨量や過去の災害の記録などから土砂災害が発生する危険度が高まったとき。
大雨警報	大雨によって重大な災害が起こるおそれのあるとき。
洪水警報	河川の増水によって重大な災害が起こるおそれのあるとき。
暴風警報	暴風によって重大な災害が起こるおそれのあるとき。
大雨注意報	大雨によって災害が起こるおそれのあるとき。
洪水注意報	河川の増水によって災害が起こるおそれのあるとき。
強風注意報	強風によって災害が起こるおそれのあるとき。
竜巻注意情報	積乱雲の下で発生する竜巻、ダウンバースト等による激しい突風が発生しやすい気象状況になったとき。



## 雨の降り方と注意報・警報の関係(目安)

発表目安	記録的短時間大雨情報				
	土砂災害警戒情報				
	大雨注意報		大雨警報	大雨特別警報	
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間雨量(mm)	10~20 mm未満	20~30 mm未満	30~50 mm未満	50~80 mm未満	80mm~
雨の降り方 人の受けるダメージ	■ザーザーと降る ■地面一面に水たまりができる	■どしゃ降り ■傘をさしても濡れる	■バケツをひっくり返したように降る ■道路が川のようになる	■滝のように降る ■傘は全く役に立たなくなる	■息苦しくなるような圧迫感がある
屋内(木造住宅を想定)	雨の音で話し声がよく聞き取れない 寝ている人の半数くらいが雨に気がつく				
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車に乗っているとき	ワイパーを速くしても見づらい		高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	車の運転は危険	

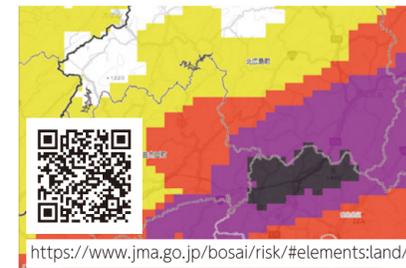
## 風の強さと吹き方

風の強さと吹き方 (平均風速:m/秒)			
やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風
10m/秒以上~15m/秒未満	15m/秒以上~20m/秒未満	20m/秒以上~30m/秒未満	30m/秒以上
<ul style="list-style-type: none"> <li>風に向かって歩きにくくなる。</li> <li>傘がさせない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>風に向かって歩けない。</li> <li>転倒する人もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>しっかりと身体を確保しないと転倒する。</li> <li>風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>立ってられない。屋外での行動は危険。</li> <li>樹木が根こそぎ倒れはじめる。</li> </ul>

## キキクル(危険度分布)

どこで土砂災害や浸水害、洪水災害の危険度が高まっているかを知ることができる、命を守るための情報です。

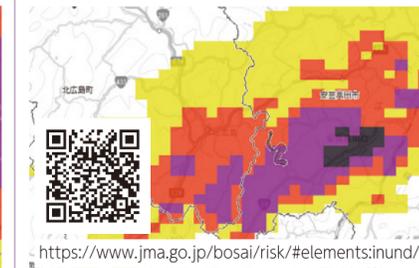
土砂キキクル 大雨警報(土砂災害)の危険度分布



紫：崖・溪流の近くは危険



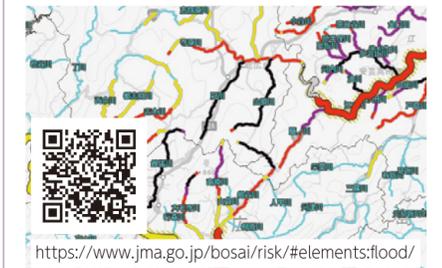
浸水キキクル 大雨警報(浸水害)の危険度分布



紫：低地は危険



洪水キキクル 洪水警報の危険度分布



紫：河川沿いは危険



※使用している携帯電話・アプリケーションによっては二次元コードの読み取りができない場合があります。(ページ内の図表は内閣府・気象庁ホームページより抜粋、編集)

## 土砂災害警戒情報(令和8年5月下旬から土砂災害危険警報と名称が変わります)

大雨警報(土砂災害)の発表後、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、市町村長の避難指示の発令判断や住民の自主避難の判断を支援するよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、都道府県と気象庁が共同で発表しています。

危険な場所からの避難が必要な警戒レベル4に相当します。

土砂災害警戒情報が発表された市町村内で危険度が高まっている詳細な領域は土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)で確認できます。

土砂災害によって命が脅かされる危険性が認められる土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、遅くとも該当領域に「危険」(紫色)が出現した時点で速やかに避難を開始することが大変重要です。

周囲の状況や雨の降り方にも留意し、危険を感じたら躊躇することなく自主避難を行いましょう。

## 線状降水帯による洪水・土砂災害

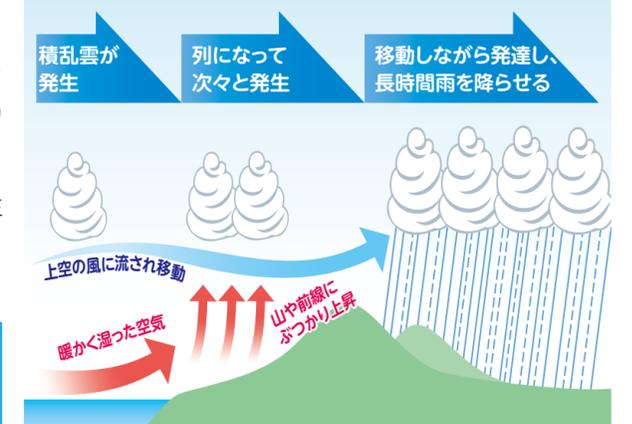
近年洪水や土砂災害を起こしている原因として、「線状降水帯」という言葉が盛んに使われています。大災害を引き起こすことも多く、天気予報でも発生が伝えられるようになりました。

### 線状降水帯とは

同じ場所で積乱雲が次々と発生して帯状に連なる現象で、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50~300km程度、幅20~50km程度の強い降水をとまなう雨域をいいます。

日本で起きた集中豪雨事例の約3分の2で線状降水帯が発生していたとされています。

### 線状降水帯の代表的な発生メカニズムの模式図



気象庁ホームページ  
「線状降水帯に関する各種情報」

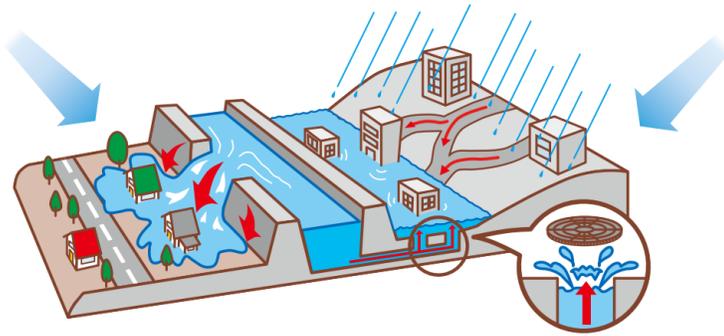


# 洪水・浸水害について

## 氾濫の種類

### 外水氾濫

河川の水位が上昇し、堤防を越えたり破堤するなどして堤防から水があふれ出す。



### 内水氾濫

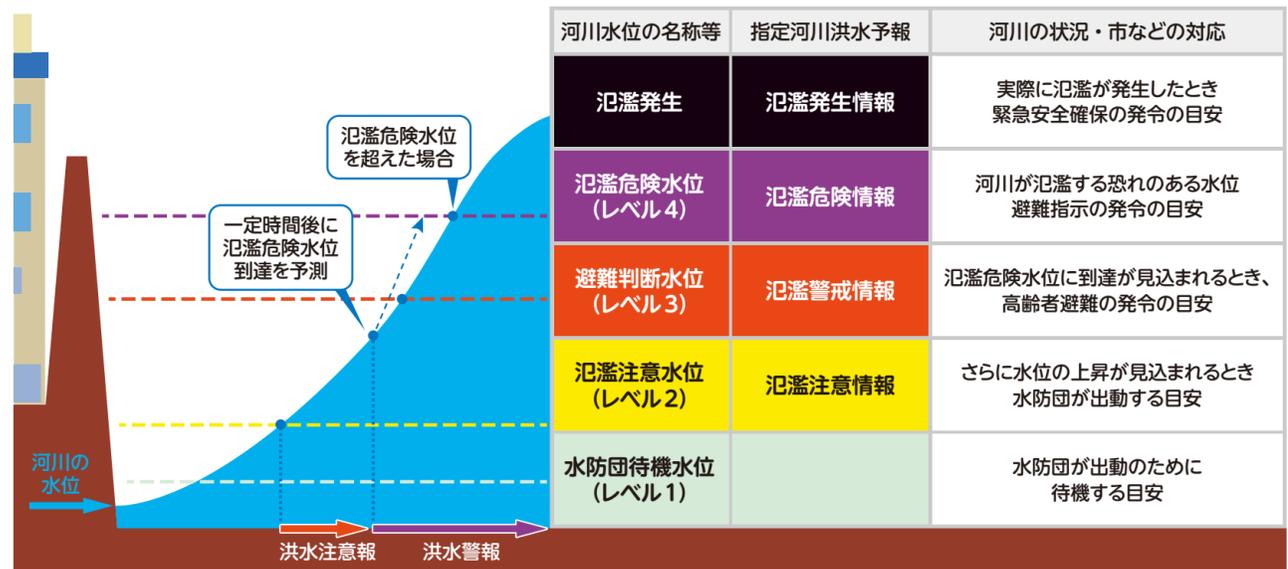
下水道・支川等の雨水排水能力を上回り浸水。あるいは河川水位の上昇により、下水道・支川等から河川へ放流できず浸水。

出典：国土交通省ウェブサイト (https://www.mlit.go.jp/river/bousai/olympic/) を加工して作成

## 河川の洪水予報

※北上川(四十四田ダム下流)、栗石川、中津川が対象です

川の水位が上昇し、洪水のおそれがあるとき、気象庁と国土交通省が共同で河川の洪水予報を発表し、報道機関などを通じてお知らせします。河川の洪水予報は、河川名を付して「北上川上流氾濫注意情報」「北上川上流氾濫警戒情報」のように発表されます。



参考：気象庁 <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/flood.html>

## このハザードマップの浸水想定

河川名	想定降雨量 (最大規模)	作成主体	河川名	想定降雨量 (最大規模)	作成主体
北上川	明治橋地点下流 流域の2日間の総雨量 264mm	国土交通省	黒沢川	流域の2日間の総雨量 828mm	岩手県
	明治橋地点上流 流域の2日間の総雨量 313mm		永沢川	流域の2日間の総雨量 942mm	
胆沢川	上流域の2日間の総雨量 675mm	滝ノ沢川	流域の2日間の総雨量 962mm		
人首川	流域の2日間の総雨量 347mm	北沢川			
衣川	流域の2日間の総雨量 466mm	澗河沢川			
南股川	流域の2日間の総雨量 901mm	三沢川			
岩堰川	流域の2日間の総雨量 932mm	白鳥川			
太田代川	流域の2日間の総雨量 918mm	天神川			
小田代川	流域の2日間の総雨量 962mm	山内川			
伊手川	流域の2日間の総雨量 834mm	徳沢川			
広瀬川	流域の2日間の総雨量 777mm	荒谷川			
口内川	流域の2日間の総雨量 948mm	田谷川			

●掲載している浸水想定は、それぞれの河川ごとに異なった条件で設定されており、複数の浸水想定が重なった箇所については、最も深い想定浸水深を記載しています。  
●支川の氾濫および内水の氾濫は考慮されていないことから、浸水想定区域に指定されていない地域での浸水や想定される浸水深が異なる場合があります。

## 浸水ランクの目安

●この「奥州市ハザードマップ」で使用しているハザード情報は、奥州市に係る河川のうち23河川が、大雨によって氾濫した場合、洪水が想定される区域とその浸水の深さを示したものです。浸水の目安は下図の「浸水ランクの目安」でご確認ください。

●雨の降り方によっては、想定と異なる浸水深となったり、地図に表示された浸水区域以外でも浸水することがあります。

●川が氾濫しない場合でも、低い土地などは浸水被害(床上・床下浸水など)が起こる場合があります。十分注意しましょう。

浸水ランク	浸水の深さ
5m以上の区域	5m以上 (2階屋根以上)
3~5m未満の区域	2階の軒下まで浸水する程度 3~5m (2階屋根まで浸水)
0.5~3m未満の区域	1階の全てが浸水する程度 1~3m (2階床下まで) 0.5~1m (床上浸水)
0.5m未満の区域	大人の膝まで浸水する程度 0.5m未満 (床下浸水)

●浸水ランクの目安●

## 避難行動のポイント、危険な場所

### 1. 情報の確認

●雨や台風などの状況を、テレビ・ラジオ・インターネットなどで確認し、最新の気象情報や避難指示等に関する情報を入手しましょう。

### 2. 防災責任者の指示に従う

●避難のときは警察・消防・地元の防災責任者などの指示に従って行動しましょう。独断での行動は大変危険です。

### 3. 動きやすい服装、集団での避難

●避難するときは、動きやすい格好で、2人以上での行動を心がけましょう。

### 4. 避難時の歩き方

●避難中はできるだけ浸水していない場所を歩きましょう。避難途中で危険を感じたら、自宅の2階以上や近所のビルに避難しましょう。

●浸水している場合には下水道のマンホールや側溝等への転落のおそれがあり危険ですので注意しましょう。

### 5. 隣近所への呼びかけ

●お年寄りや子供、病気の人は早めの避難が必要です。近所のお年寄りや子供、病気の人などの避難に協力しましょう。情報伝達や避難場所をとりまとめておくとう便利です。

### 6. 車での避難は危険

●自動車に水に浸かると動かなくなったり、水圧で扉が開かなくなったりして大変危険です。自動車での避難は特別の場合を除きやめましょう。

### 7. 橋や川の近くは危険

●川が増水している場合には、川の流れが速く、橋が壊れたり流されたりして非常に危険ですので、近寄らないようにしましょう。

### 8. 川や用水路を見に行かない

●大雨の時に、川や用水路の様子を見に行つたことで流されて被害に遭う場合があります。大雨時には絶対に川や用水路を見に行くことはやめましょう。

出典：国土交通省ウェブサイトを加工して作成

## 早期の立退き避難が必要な区域

河川の氾濫により家屋倒壊や住宅の2階以上が浸水するおそれがあるなど、建物内の上階に避難する垂直避難では安全の確保が難しくなる区域を「早期の立退き避難が必要な区域」に設定しています。

**浸水深3m以上の区域** || **家屋倒壊等氾濫想定区域**

早期の立退き避難が必要な区域

一般的な住宅の2階床の高さに相当します。屋内に留まることにより命に危険が及ぶおそれがあります。

大雨の際に、一般的な木造住宅を押し流すほどの氾濫流や河岸侵食が発生するおそれのある区域です。

**避難情報発令時には…**

警戒レベル3 高齢者避難の発令を目安に、まずは洪水浸水想定区域の外へ避難。

**こんな時は要注意!**

周囲の浸水が始まっているなど、外へ出ることが危険な場合は、自宅の2階や近くにある頑丈な建物へ緊急的に避難し、安全を確保します。

# ！ため池浸水情報について

## ため池浸水時の注意点

- 一時間雨量20mm以上になると災害が発生するおそれが高まります。
- 長雨が続き続いた場合は、地盤が緩み、災害が発生する可能性が高まります。
- ため池の貯水は、流出してしまうと徐々に水は引きますが、ため池の周辺の沢や川の水が完全に引くまで避難しててください。
- 避難できる状況にある場合は、ハザードマップを参考に浸水想定区域を避けながら迅速に避難してください。
- 大雨時にはテレビやラジオ、防災無線等の気象情報及び避難情報等に注意し、早い段階での避難を心がけてください。
- 強い地震が発生した場合や強雨により外出が難しい場合は、自宅の2階など、できるだけ高いところへ避難してください。

## ため池ハザードマップ

- ため池ハザードマップは、ため池が決壊した場合に想定される浸水区域を図化し、皆さんが安全に避難できるように必要な情報を掲載しています。
- 以下のQRコードより市内のため池の浸水区域をご確認いただけます。



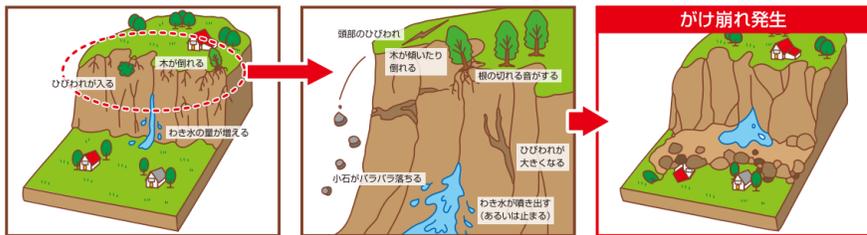
# 土砂災害について

## 土砂災害の種類

土砂災害は、大きく分けてがけ崩れ(急傾斜地の崩壊)、土石流、地滑りの3種類に分類される。

### がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

雨などの影響によって、土の抵抗力が弱まり、急激に斜面が崩れ落ちる現象。ひとたび人家を襲うと逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高い。



### 土石流

山腹や溪床を構成する土砂石礫の一部が雨などによって水と一体となり、一気に下流へ押し流される現象。流速 20～40km/h で一瞬のうちに人家などを壊滅させてしまう。



### 地すべり

斜面の土塊が地下水などの影響により、すべり面に沿ってゆっくりと斜面下方へ移動する現象。一般的に広範囲に及び移動土塊量が大きいいため甚大な被害を及ぼす可能性が高い。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

出典：国土交通省ウェブサイトを加工して作成

## 土砂災害の警戒区域

土砂災害防止法に基づき、都道府県は調査を実施し、土砂災害のおそれのある区域を以下の通り指定しています。

### 土砂災害 特別警戒区域(レッドゾーン)

建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域

### 土砂災害 警戒区域(イエローゾーン)

住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがある区域

出典：国土交通省ウェブサイトを加工して作成

## 避難行動のポイント

### 原則として区域外へ避難

■避難情報により示される指定避難所等や、土砂災害警戒区域等の外の安全な場所へ避難しましょう。

水平避難



■がけの上に自宅がある場合などは、倒壊のおそれがあるため、区域外へ急いで避難しましょう。

### 区域外への避難が難しい場合は

■近くの頑丈な建物の2階以上に緊急避難しましょう。

■がけから離れた2階の部屋など、家の中でより安全な場所に避難しましょう。

垂直避難



# 地震対策について

## 地震の時はどのように行動したらいいか?

地震の揺れを感じた場合、あるいは緊急地震速報を見聞きした場合は、あわてずにはまず身の安全を確保してください。そして、落ち着いてテレビやラジオ、スマートフォンなど、様々な手段を使って正確な情報の把握に努めましょう。

### 家庭で屋内にいるとき

- 家具の移動や落下物から身を守るため、頭を保護しながら大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れる。
- あわてて外に飛び出さない。
- 料理や暖房などで火を使っている場合、その場で火を消せるときは火の始末、火元から離れているときは無理に火を消しに行かない。



### 人が大勢いる施設(大規模店舗などの集客施設)にいるとき

- あわてずに施設の係員や従業員などの指示に従う。
- 従業員などから指示がない場合は、その場で頭を保護し、揺れに備えて安全な姿勢をとる。
- 吊り下がっている照明などの下から退避する。
- あわてて出口や階段に殺到しない。



### エレベーターに乗っているとき

- 最寄りの階で停止させて、すぐに降りる。



### 屋外にいるとき

- ブロック塀の倒壊や自動販売機の転倒などに注意し、これらのそばから離れる。
- ビルの壁、看板や割れた窓ガラスなどの落下に注意して、建物から離れる。



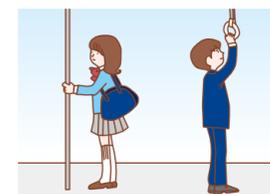
### 山やがけ付近にいるとき

- 落石やがけ崩れに注意し、できるだけその場から離れる。



### 鉄道・バスに乗っているとき

- つり革や手すりにしっかりつかまる。



### 自動車運転中

- あわてて急ハンドルや急ブレーキをかけず緩やかに速度を落とす。
- ハザードランプを点灯して周りの車に注意を促し、道路の左側に停止する。



### 大都市で地震に遭遇した時

まずは、身の安全を確保した後、むやみに移動を開始しないことが基本!安全な場所にとどまることを考えましょう。

- 道路では余震で頭上から物が落下してきたり、道中に火災が起こっていたりするなど、数多くの危険が予想されますので、安全な場所からはむやみに移動しないようにしましょう。
- 駅周辺等大混雑している場所では、人が将棋倒しになる集団転倒が起きやすくなります。駅周辺には近づかないようにしましょう。
- 発生3日程度は火災の発生や救助・救急活動優先のため、混乱状態が続きます。まず身を守るために安全な場所にとどまることを考えましょう。



出典：首相官邸ホームページを加工して作成

## 活断層について

奥州市内には、わかっているものも含め、無数に活断層が存在すると考えられます。中でも北上低地西縁断層帯(出店断層帯)と呼ばれるものが存在し、北上市岩崎地区から奥州市胆沢地区付近までの約24kmと考えられています。詳しい調査内容等については、岩手県のホームページに掲載されていますのでご覧ください。



北上低地西縁断層帯(出店断層帯) ▶

# 非常用持出品および備蓄品

災害が発生し、避難する場合はもちろん、避難の必要がない場合でも、電気や水道、ガスなどが使用できない場合もあります。万が一の場合に備えて、家族で話し合い、災害時の非常用持出品や備蓄品を準備しておきましょう。

## 非常用持出品(例)

準備ができているか、チェック☑しましょう。

<b>携帯ラジオ</b>  <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> 電池(多めに用意)	<b>救急医薬品</b>  <input type="checkbox"/> 処方薬 <input type="checkbox"/> 包帯 <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> 消毒薬 <input type="checkbox"/> 絆創膏	<b>貴重品</b>  <input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 免許証 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> マイナンバーカード <input type="checkbox"/> 預金通帳	<b>懐中電灯</b>  <input type="checkbox"/> 懐中電灯(出来れば一人にひとつ) <input type="checkbox"/> 電池(多めに用意)
<b>非常食品</b> 火を通さずに食べられるもの、食器など <input type="checkbox"/> アルファ化米 <input type="checkbox"/> カンパン <input type="checkbox"/> 缶詰・レトルト食品 <input type="checkbox"/> ミネラルウォーター <input type="checkbox"/> 缶切り・栓抜き <input type="checkbox"/> 紙皿・紙コップ <input type="checkbox"/> 水筒 <input type="checkbox"/> 箸・スプーン等		<b>その他</b> <input type="checkbox"/> ヘルメット・軍手 <input type="checkbox"/> ビニール袋・布テープ <input type="checkbox"/> ラップフィルム <input type="checkbox"/> 防寒具(時季による) <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ等 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> ライター <input type="checkbox"/> モバイルバッテリー <input type="checkbox"/> 歯ブラシ	
<b>子どものための備え</b> <input type="checkbox"/> 粉ミルク(アレルギー用含む)または液体ミルク <input type="checkbox"/> 使い捨ておむつ <input type="checkbox"/> 離乳食 <input type="checkbox"/> 子ども用紙おむつ、おしりふき等		<b>女性のための備え</b> <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> サニタリーショーツ <input type="checkbox"/> 防犯ブザー・ホイッスル等	
<b>高齢者のための備え</b> <input type="checkbox"/> 大人用紙パンツ <input type="checkbox"/> 補聴器 <input type="checkbox"/> 介護食等			

## 非常用備蓄品(例)

災害復旧までの数日間(最低3日)生活できる準備ができているか、チェック☑しましょう。

<b>飲料水</b>  <input type="checkbox"/> 飲料水としてミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に) <input type="checkbox"/> 貯水したポリタンクなど	<b>非常食品</b>  <input type="checkbox"/> お米(アルファ米も便利) <input type="checkbox"/> 缶詰・レトルト食品 <input type="checkbox"/> 梅干し・調味料など <input type="checkbox"/> ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)
<b>燃料</b>  <input type="checkbox"/> 卓上コンロ <input type="checkbox"/> ガスボンベ <input type="checkbox"/> 固形燃料	<b>その他</b> <input type="checkbox"/> 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水) <input type="checkbox"/> 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど <input type="checkbox"/> 調理器具(なべ・やかんなど) <input type="checkbox"/> バケツ・各種アウトドア用品など <input type="checkbox"/> 簡易トイレ

# ！マイ・タイムラインを作ろう！

マイ・タイムラインとは、一人ひとりの防災行動計画のことです。どのような避難行動が必要か、防災行動を時系列的に整理しましょう。事前に計画を作成しておくことで、災害時にあわてることなく行動することができます。

## ①避難先をいくつか決めておこう

1 _____

2 _____

3 _____

## ②避難先までのルートを確認しよう

_____ km

避難にかかる時間を確認しよう

避難にかかる時間 _____ 分

自分や家族の行動(マイ・タイムライン)を具体的に書いてみよう

洪水の想定浸水深	~	m	土砂災害の警戒区域等	ある・ない
----------	---	---	------------	-------

# i 新しい防災気象情報 (令和8年5月下旬から運用開始予定)

大雨や河川氾濫、土砂災害などの防災気象情報を、災害発生の危険度の高まりに応じて、住民がとるべき行動に対応した5段階の警戒レベルに合わせて発表します。避難が必要となるレベル4相当の情報として「危険警報」を新設しているほか、情報名そのものにレベルの数字を付けることで、情報と住民がとるべき行動との関係が分かりやすくなります。

## 新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	大雨	河川氾濫	土砂災害	高潮	住民がとるべき行動
	低地の浸水や大河川以外の氾濫	1級河川などの大きな河川の氾濫	急傾斜地のがけ崩れや土石流	海面の上昇や波の打上げによる浸水	
<b>5</b>	<b>レベル5</b> 大雨特別警報	<b>レベル5</b> 氾濫特別警報	<b>レベル5</b> 土砂災害特別警報	<b>レベル5</b> 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保!
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難!> -----					
<b>4</b>	<b>レベル4</b> 大雨危険警報	<b>レベル4</b> 氾濫危険警報	<b>レベル4</b> 土砂災害危険警報	<b>レベル4</b> 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
<b>3</b>	<b>レベル3</b> 大雨警報	<b>レベル3</b> 氾濫警報	<b>レベル3</b> 土砂災害警報	<b>レベル3</b> 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
<b>2</b>	<b>レベル2</b> 大雨注意報	<b>レベル2</b> 氾濫注意報	<b>レベル2</b> 土砂災害注意報	<b>レベル2</b> 高潮注意報	避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
<b>1</b>	<b>早期注意情報</b>				災害への心構えを高める

詳細な情報や運用開始日などは、決まり次第気象庁や市からお知らせします。

警戒レベル	避難情報・気象情報	個人の行動・主な備え	マイ・タイムライン(自分や家族の避難行動を書いてみよう)
1	<b>早期注意情報(気象庁)</b>	<input type="checkbox"/> テレビで天気予報を確認 <input type="checkbox"/> 防災グッズの確認(水や食料、衣類、薬など)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2	<b>大雨注意報等(気象庁)</b>	<input type="checkbox"/> ハザードマップで避難先、避難経路を確認 <input type="checkbox"/> 家族で今後の予定を確認 <input type="checkbox"/> 携帯電話の充電	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3	<b>高齢者等避難</b>	<b>高齢者などは早めに避難</b> <input type="checkbox"/> 不要不急の外出は控える <input type="checkbox"/> 持ち出し品の準備、再確認 <input type="checkbox"/> テレビ等で気象情報を確認	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
4	<b>避難指示</b>	<b>危険な場所から全員避難する</b> <input type="checkbox"/> 避難所や知人宅へ避難 <input type="checkbox"/> 家族が避難したか確認	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
<b>警戒レベル4までに必ず全員避難!</b>			
5	<b>緊急安全確保</b>	<b>命を守る最善の行動をとる</b> もし逃げおくれたら <input type="checkbox"/> 1階から2階以上へ移動 <input type="checkbox"/> がけの反対の部屋へ移動	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

# 防災情報の入手方法

## 奥州市ホームページ

最新の災害情報のほか、防災への取り組みや、被災後の手続きなどを案内します。

<https://www.city.oshu.iwate.jp>



iOS用



Android用

## 奥州市公式アプリ 「ぼちっと奥州」

市から発信する重要なお知らせなどをプッシュ通知により受信できるほか、防災情報などを閲覧できます。

## たんこメ

奥州・金ケ崎地域の情報メール配信サービス

<https://www.tankome.jp/agriMob/pubUserNewRegister.do>



## いわて防災情報ポータル

岩手県内の気象情報、避難情報、災害対応状況などを確認できます。

<https://iwate-bousai.my.salesforce-sites.com/>

## 岩手県河川情報システム

岩手県内の河川の水位、雨量などを確認できます。

<http://kasen.pref.iwate.jp/iwate/servlet/Gamen30Servlet>



## 気象庁キキクル（危険度分布）

どこで土砂災害や浸水害・洪水の危険度が高まっているかを知ることができます。

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>

## 国土交通省 防災情報提供センター

国土交通省が保有する防災情報を集約して、わかりやすく提供しています。

PC <https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>



## 国土交通省 川の防災情報

全国の河川の水位や降雨の情報など、水災害に関する様々な情報を紹介しています。

<https://www.river.go.jp>

# 災害用伝言ダイヤル

## 災害用伝言ダイヤルとは？

地震、風水害などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。

伝言の録音 171-1-被災地の方の電話番号

伝言の再生 171-2-被災地の方の電話番号

伝言内容(時間) 1伝言あたり30秒以内

伝言保存期間 災害用伝言ダイヤル(171)運用終了まで

伝言蓄積数 1電話番号当たり20伝言まで

利用可能電話 加入電話、INSネット、ひかり電話(ダイヤル式を除く)携帯電話、災害時用公衆電話

# 防災関係機関連絡先

奥州市役所本庁	0197-24-2111
危機管理課消防係	0197-34-2235
危機管理課防災係	0197-34-2236
<b>総合支所</b>	
江刺	0197-35-2111
前沢	0197-56-2111
胆沢	0197-46-2111
衣川	0197-52-3111
県南広域振興局	0197-22-2811

## 火事や事故、ケガ人の発生時

奥州金ケ崎行政事務組合 消防本部	0197-24-7211
奥州警察署	0197-25-0110
奥州保健所	0197-22-2831

## 河川の氾濫やダムの緊急放流時

岩手河川国道事務所水沢(出)	0197-24-4173
北上川ダム統管理事務所 胆沢ダム管理支所	0197-49-2981

## 停電や電柱の倒壊時

東北電力ネットワーク コールセンター	0120-175-366
-----------------------	--------------

# 奥州市ハザードマップ 令和8年3月

発行 奥州市危機管理課  
岩手県奥州市水沢大手町1-1  
TEL 0197-34-2236  
FAX 0197-51-2374

制作 株式会社ゼンリン 盛岡営業所  
盛岡市中央通2丁目1番21号  
TEL 019-622-7230  
FAX 019-622-2115

無断で複写、転載することをご遠慮ください。

この地図は、奥州市の承認を得て、奥州市所有の2,500分の1、5,000分の1地形図を使用したものである。(承認番号)令和3年11月9日奥州市指令奥都第70号  
この地図は、奥州市の承認を得て、奥州市所有の2,500分の1、5,000分の1地形図を使用したものである。(承認番号)令和6年6月11日奥州市指令奥都第24号  
この地図は、奥州市の承認を得て、奥州市所有の2,500分の1、5,000分の1地形図を使用したものである。(承認番号)令和6年6月11日奥州市指令奥都第25号  
この地図は、奥州市の承認を得て、奥州市所有の2,500分の1、5,000分の1地形図を使用したものである。(承認番号)令和6年11月21日奥州市指令奥都第44号  
この地図の作成に当たっては、岩手県知事の承認を得て、5千分の1地形図を使用した。(令和6年2月5日森整第687号)  
[測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R5JHs 167-577号]  
[測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R5JHs 168-263号]

本文中の地図は、弊社住宅地図(奥州市水沢、江刺、前沢・衣川、胆沢)のデータをもとに作成しています。また、住宅地図による現地調査情報、編集独自の細かな情報も加えて制作しています。